

HSK

昭和48年1月13日第三種郵便物承認 令和2年10月10日（毎月10日発行）HSK通巻 第583号
編集人 帯広市公園東町3丁目9-1 一般社団法人帯広身体障害者福祉協会 TEL. 0155-23-0050 「絆」 第102号
発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 定価50円



絆

No. 102

【編集人】

帯広市公園東町3丁目9番地
帯広市グリーンプラザ
一般社団法人
帯広身体障害者福祉協会
会長 田中利和
TEL 23-0050
FAX 23-1452
『絆』第102号 定価 50円
(会費を含む)
令和2年10月

第一回理事会

9月6日(日)、帯広市グリーンプラザA会議室において第一回理事会が開催されました。理事・監事11名が出席し、報告事項・審議事項について意見交換が交わされ、原案どおり承認されました。

報告事項

- ① 令和2年度事業経過報告
 - ② 令和2年度職務執行状況報告(会長・常務理事)
 - ③ 分会の状況について
- ※令和2年9月6日現在の会員総数は186名。団体で正会員152名、賛助会員30名、法人会員4団体である。会員数の減少は死去及び体調不良(高齢化等)での退会が多い。現在の分会は、7分会があるが、分会によっては地域との結びつきを深め、地域活動に欠かせない存在となっている。
- 各分会とも活動を行っているはいるが、会員の高齢化等での活動停滞化が目立ってきている。また、分会長の死去に伴い、活動の低下が報告されている。協会の方針は分会活動が

協会運営の柱でもあり、今後もこのことを推進する。また、地域との関わりを持つことが身障協会として新たな活動の方向性でないかと判断する。

審議事項

- ① 分会の存続問題が発生した場合、基本は存続することを旨とする。止むを得ない場合は、他の分会に移動等を考える。長く親しんだ分会から他の分会に移動となると難色を示す会員も存在するも、基本は分会活動である。
- ④ 北海道身体障害者福祉協会監事に就任(田中会長)
- ⑤ 北海道善行賞受賞(大空分会粒見澄男さん)

その他

- ① 役員選出規定に基づく理事会からの役員選考委員の氏名
 - ② 役員選出規定の一部変更及び変更内容
 - ③ 役員視察研修(案)
 - ④ 防災出前講座の開催(案)
- ① 令和3年度開催(第70回全道身体障害者福祉大会帯広大会)
- ※令和3年10月3日(日)ホテル日航ノースランド帯広にて開催。開催に伴う、実行部隊である実行委員会を立ち上げる。人選は前帯広大会を参考に進める。また、この大会は全十勝を挙げての開催を目指し、十勝地区の身障協会会

長の参加、また、帯広市各界及び若い力のボランティア参加を呼び掛ける。人選などは12月開催の理事会に報告したい。また、初回実行委員会を年明けに開催し、大会終了後の決算までを含め5回程度開催を予定している。大会参加者も500名、ボランティア100名程度を予定している。全道規模の大会は事務局だけでは実施できないので、理事・監事を含め会員各位の協力なくして開催できませんのでご協力をお願いいたします。

役員選考委員会の動きについて

令和3年度開催の定時総会で理事・監事が改選されます。

平成28年度に制定された「役員選考委員会規定」に基づき、理事会から4名以内、分会から7名以内、合計11名以内の委員で構成されます。会員が減少する中で理事・監事定数の在り方等、多々課題があると思います。

選考委員各位におかれましては、令和3年度以降の協会運営の要になる人選となりますことから、協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、第一回役員選考委員会は11月22日(日)午後1時30分から帯広市グリーンプラザにて開催されます。

第4回パークゴルフ交流会結果報告

9月27日(日)、帯広の森パークゴルフ場林間コースにて参加者22名による第4回パークゴルフ交流会が開催されました。結果は、次のとおりとなりました。

【男性の部】

優勝 鳥畑 勝行さん 54打
 準優勝 中井登美男さん 56打(+)
 第3位 宮嶋 正夫さん 56打

【女性の部】

優勝 加藤 孝子さん 64打(+5)
 準優勝 加藤 峰子さん 65打
 第3位 山本 茂子さん 67打

※(+)はハンディキャップ



今年度のゲートボール交流会は終了しました

新型コロナウイルス感染症拡大防止、天候不良等にて中止がありました。今年度のゲートボール交流会は無事終了となりました。

緑ヶ丘公園ゲートボール場にて田中会長をはじめ、たくさんの方の参加が参加されました。

また、帯広ゲートボール連盟より講師2名の方にルールについてご指導いただきました。

参加していただいた会員の皆さま、講師をしていただいたゲートボール連盟の方々ありがとうございました。

共同募金助成にて新しいスティックを購入しましたので、また来年もたくさんの方の皆さまのご参加をお待ちしております。



スポーツ部会長杯パークゴルフ大会結果報告

10月11日(日)、十勝川公園パークゴルフ場にて参加者22名による令和2年度スポーツ部会長杯パークゴルフ大会が開催されました。結果は次のとおりとなりました。また、大会終了後は皆さんでお弁当を楽しみました。

【男性の部】

優勝 加藤 武夫さん 92打
 準優勝 細川 勝吉さん 95打
 第一位 谷口 吉春さん 103打
 第二位 村瀬 博明さん 105打
 第三位 阿保 武男さん 107打

【女性の部】

優勝 平野 幸子さん 103打
 準優勝 遠国喜代子さん 110打
 第一位 成田 愛子さん 114打
 第二位 加藤 孝子さん 114打
 第三位 稲田満紀子さん 124打

※36ホールの結果です



成田さん・遠国さん・細川さん・加藤さん・平野さん・谷口さん

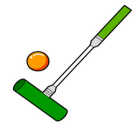


スポーツ部会長挨拶

各種ご案内

スポーツ行事は、屋外から室内へとお引越しとなります。屋外は苦手という方、室内でのスポーツに参加してみませんか！
ご参加お待ちしております。

○申込先
分会の方・・・分会長へ
個人会員・・・事務局へ
事務局 TEL 23-0050
fax 23-1452



第1回フロアカーリング交流会

第1回フロアカーリング交流会は次のとおり行います。

○日時 11月3日(火・祝) 9時開始
○場所 帯広市グリーンプラザA・B集会室
帯広市公園東町3丁目

○持物 上靴

○締切 10月29日(木)まで

第1回ゴルフゲート交流会

第1回ゴルフゲート交流会は次のとおり行います。

○日時 11月8日(土) 9時開始
○場所 帯広市グリーンプラザA・B集会室
帯広市公園東町3丁目

○持物 上靴・ステイック

○締切 10月30日(金)まで

第2回ゴルフゲート交流会

第2回ゴルフゲート交流会は次のとおり行います。

○日時 12月5日(土) 9時開始
○場所 帯広市グリーンプラザA・B集会室
帯広市公園東町3丁目

○持物 上靴・ステイック

○締切 11月27日(金)まで

第2回フロアカーリング交流会

第2回フロアカーリング交流会は次のとおり行います。

○日時 12月20日(日) 9時開始
○場所 帯広市グリーンプラザA・B集会室
帯広市公園東町3丁目

○持物 上靴

○締切 12月11日(金)まで

パネル展と作品展示即売会のお知らせ

「障害者週間」記念事業実行委員会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが協議の結果、パネル&作品展示即売会を開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

今年も婦人部の皆さんはパネル展&作品展示即売会に参加いたします。申し込みは、各分会の婦人部役員、またはお世話人さんへ**10月30日(金)まで**にお願いします。個人会員は事務局(23-0050)まで申し込み願います。

○会場 場：とかちプラザ1階アトリウム
(帯広市西4条南13丁目)

○開催期間：11月17日(火)～19日(木)

○開催時間：3日間いずれも11時～15時

○内容 容：作品展示・即売会

(木工品・陶芸・手芸品・その他種類は問いません)



令和2年度中間監査報告

10月22日(木)、帯広市グリーンプラザA会議室において、田中会長、加藤・成田両副会長立会いの下、阿保・稲田両監事による令和2年度中間監査(4月1日から9月30日まで)が行われました。問題なく終了しましたことをご報告いたします。

共同募金助成による道具購入のご報告

帯広市社会福祉協議会共同募金助成で、ゲートボールスティックを購入しましたことをご報告いたします。



去る10月25日(日)、西南分会の交流会が、芽室町の新嵐山荘にて開催されました。当日は、十勝晴れの中、会員16名・ペルパーさん2名が参加し、輪投げ大会では優勝・準優勝者に豪華景品が授与され、温泉では世間話に花が咲きました。豪華な昼食を頂き、ビンゴ大会で大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごし、より一層親睦を深めることができました。
送迎バスで帯広市グリーンプラザに到着後、防災講話に参加し、充実した一日を過ごしました。

西南分会交流会のご報告

編集後記

「4千万人を超えた」



○この数字は、最近新聞報道された世界中の新型コロナウイルス感染者の累計である。特に欧米において連日1万人を超える感染者数が発生している。

○一方、我国も日々の報道により欧米よりは少ない数であるが感染者が発生している。○年内には感染防止効果があるワクチンが製造される報道が連日された。出来上がるのを心待ちしている者も多いが、その兆しが見られない。

○7月以降、協会事業を再開している。ただ、密になる行事は中止である。今年開催の全道身体障害者福祉大会深川大会は5月の時点で中止と判断された。令和3年度は帯広大会(10月3日開催)が予定され、準備は進めるが先行きは不明である。

○事業中止により体調がよくなった等の声を多くの会員から聞く。人の動きを大きく制限の必要はあるが、その度合いである。経済活動もそうだ。加減という言葉があるが、実際どのようなようにしたらうまく機能するのか。日々、判断を求められる為政者は大変である。

○現在、令和3年度役員選考委員会を立ち上げ中で、11月22日(日)に第1回選考委員会開催を予定している。理事会から4名以内、分会から7名以内の計11名以内の委員で構成される。前回の平成30年度と比較するならば、会員の数も減少しており、定款に定めた数字の理事(7名以上10名以内)及び監事(2名以内)の選考がどのようになるのか、選考委員会の中で論議を深めたい。選考委員になられた方の健闘をお願いいたします。

○また、当協会の運営の中で最大限注視しなければならないのは「公益目的支出計画」の達成である。令和4年度が完了年度である。そして、その後の運営をどの様に行っていくかねばならない根幹に関わる問題も控えていることを再三紹介している。

○間違いなく到来する令和4年度である。今年度は公益目的で大きく支出している全道大会が中止となっている。計画の変更等が必要か、道庁法人団体課と協議し進めていきたい。

○いずれにしても、公益目的達成年度は、今年の大河ドラマの「麒麟がくる」の最後の舞台である「山崎の戦い」の敗者にならないよう取り組んでいかねばならない。
○会員各位の協力を切に願います。

M・M 記

役員視察研修のご報告

令和2年10月19日(月)、晴天。田中会長以下、理事・監事及び分会並びに部会役員計18名が参加。午前9時にグリーンプラザを出発。最初の研修先の浦幌町立博物館では浦幌の自然、地層、アオサギの実態、縄文時代の土器、アイヌのくらし、浦幌炭鉱の歴史、浦幌郡の経過等を熱心に学びました。持田学芸員のユーモアを織り込んだ、隅々まで通る声で説明を受けました。会員一同、浦幌の歴史について納得した面持ちで学ぶことが出来、有意義な時間を過ごすことができました。

昼食会場と午後からの研修先を兼ねる「浦幌町コスミックホール」に移動。昼食は浦幌の食材をメインに美味しくいただきました。

午後からは「うらほろスタイル」について井上まちづくり推進係長及び本間うらほろスタイル地域・学校協働コーディネーターの説明を受けました。このスタイルのテーマは「地域の持続性」を目指すことにあるそうです。平成22年度に浦幌高校が閉校。若い人たちの流出による人口減、少子高齢化に拍車をかけました。これから町を担う、子供の目線での意見を積極的に受けて5つプロジェクト事業としました。①地域への愛着を育む事業②農村つながり体験事業③子どもの思い実現事業④高校生つながり発展事業⑤若者のしごと創造事業。昨今、全国的な共通の課題に対し果敢にとり組む「うらほろスタイル」は見習うことが多いと研修の中で感じました。

道の駅「うらほろ」経由で豊頃町のハルニレを見学。意外にはじめて見る会員が多かったことには参加者もびっくりしました。午後4時にグリーンプラザに到着。参加された会員の皆さまお疲れさまでした。



防災講話を開催しました

10月25日(日)午後4時から帯広市グリーンプラザBC会議室にて帯広市危機対策課の高田係長を講師にお招きし、当協会関係各位31名が講話会に参加されました。

主催者を代表して田中会長の挨拶に続き、防災講話に入りました。

最近の地震、水害の状況の説明を受けた後、昭和27年の十勝沖地震から平成30年に発生した胆振東部地震(ブラックアウト)までの状況、水害として平成28年に発生した台風10号、十勝川も氾濫寸前の状況に至った降雨量であった。また、十勝地方(新得町・清水町)に大きな爪痕を残しました。水害は天気予報等から備えようがあるが、地震は突然発生する。日頃の備えとして、3日分の食料・簡易トイレは必要であるとの説明がありました。

今回の開催のあたったては、聴覚障害者(帯広ろうあ者協会)、難病連家族会にもお声をかけ企画しました。

質疑応答では、障害者が有する困難さについて意見が出されました。協会としましても、防災・震災の3つの要素である自助(身体障害者)は困難が伴う、共助(隣り近所等)、公助(行政機関等)について、日頃からお互いに共有することが必要と考えております。最後に加藤節義副会長の締めめの挨拶で閉会しました。日曜日の午後にも関わらず参加されました会員の皆さまお疲れさまでした。



紋別身体障害者福祉協会との交流会を開催しました

令和2年9月10日(木)、帯広市グリーンプラザにて紋別市身体障害者福祉協会と帯広市身体障害者福祉協会の交流会が開催されました。

紋別市身体障害者福祉協会は9月9日(水)、10日(木)の両日、十勝管内での研修地先として帯広市を企画され、併せて紋別市身障協会の藤田幸太郎会長が北海道身体障害者の会長を兼ねており、また、北海道身体障害者福祉協会の泉事務局長が帯広市グリーンプラザで9月8日(火)～10日(木)まで北身協主催のパソコン教室を開催中であることから、この機会を利用して、令和3年10月3日に開催予定とされる全道身体障害者福祉大会帯広大会について田中会長、森山事務局長と共に米沢市長に表敬訪問を行いました。

表敬訪問の時間を利用して、紋別市身障協会と帯広市身障協会との会員同士の交流を行いました。当協会より成田副会長、阿保・稲田両監事、松本理事の他、パソコン教室受講者の皆さんが参加され、互いに協会でのような活動をしているかなどの手持資料に基づき情報及び意見交換を行いました。

紋別市身体障害者福祉協会は現在35名の会員が在籍、以前、この倍の会員が存在しており、副会長の働きで幽霊会員を整理した。活動としては定時総会、北海道身体障害者スポーツ大会及び網走地区身体障がい者スポーツ大会並びに



紋別市障害者スポーツ交流会への参加、全道身体障害者福祉大会への参加、正月のしめ飾り注文・販売を行っているとのこと。また、紋別市の障害者計画委員、地域自立支援協議会委員としても活動をされているとのこと。紋別市身体障害者福祉協会は社会福祉協議会の傘下にあることから役員代表が社協の理事会に参加しています。1時間ほどの交流となりましたが、双方の親睦及び活動状況の理解を深めました。交流会に参加された会員の皆さま、ありがとうございました。

パソコン教室が開催されました

9月8日(火)～10日(木)、帯広市グリーンプラザにおいて、障害者向けパソコン教室(講師 北身協)を実施しました。当協会より6名の会員の方が参加されました。今年の作品は、昨年好評だった受講者の皆さんが作成したイラストや写真を印刷し白地のマグカップに文字や絵柄を張付けました。皆さん素敵なマグカップを作成されました。また、最終日には受講者を代表して西南分会の島倉和彦さんが3日間講師をしてくださった北海道身体障害者福祉協会のお二人に御礼の言葉を述べ、受講者には田中会長より受講終了証が授与され講義は無事終了となりました。受講された皆さまお疲れさまでした。また来年も参加してくださいね。

